

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ながらがわ） 長良川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、長良川森林計画区の岐阜市を含む6市に所在する4,621haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、岐阜県の南部中央に位置し、森林の現況は人工林77%、天然林23%となっている。人工林は、スギ28%、ヒノキ58%、カラマツ4%を主体とした森林である。</p> <p>当地域は森林率75%と高い地域であり、林業・林産業が地域の重要な産業であるとともに、長良川の源流から都市近郊林まで幅広く点在しており、銚子岳、大日ケ岳及び鷲ヶ岳の山岳をはじめ、吉田川、板取川及び長良川等の渓谷など自優れた自然景観を有していることから、登山等保健休養の場としても広く国民に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>このため、山地災害による人命・施設の被害防備や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>当事業は、これらの流域の特性を踏まえ地球温暖化防止や水源かん養機能・山地災害防止機能・保健文化機能など、森林が持つ公益的機能の高度発揮を図るため、間伐等の保育作業を積極的に実施するなど、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">3 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">247 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">0.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.7 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>122,825</td> <td>千円</td> <td></td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	3 ha			保育面積	247 ha		路網整備	開設延長	0.0 km			改良延長	0.7 km	総事業費	122,825	千円	
主な事業内容	森林整備	更新面積	3 ha																				
		保育面積	247 ha																				
	路網整備	開設延長	0.0 km																				
		改良延長	0.7 km																				
総事業費	122,825	千円																					
費用対効果分析	総便益（B）	2,331,683	千円																				
	総費用（C）	151,189	千円																				
	分析結果（B/C）	15.42																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土の保全及び水源かん養等の益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備等が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

別紙様式 7

整理番号 1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：中部森林管理局

事業実施地区名：長良川森林計画区（ながらがわ）

岐阜森林管理署

（都道府県名：岐阜県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	518,695	
	流域貯水便益	119,494	
	水質浄化便益	204,002	
山地保全便益	土砂流出防止便益	193,549	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	44,670	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	10,374	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	165,278	
	木材利用増進便益	0	
	木材生産・確保増進便益	1,073,669	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	49,891	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	1,023,778	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	0	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	0	
	森林整備促進便益	0	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	0	
	維持管理費縮減便益	1,952	
総便益 (B)		2,331,683	
総費用 (C)		151,189	
費用便益比 (B/C)		15.42	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																									
事業実施地区名 （都道府県名）	（おわりにしみかわ） 尾張西三河森林計画区 （愛知県）	事業実施主体	中部森林管理局 愛知森林管理事務所																									
事業の概要・目的	<p>当事業は、尾張西三河森林計画区の岡崎市、瀬戸市、豊田市、犬山市に所在する3,48haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、愛知県の西部に位置し、森林の現況は人工林81%、天然林19%となっており、人工林はスギ10%、ヒノキ47%、アカマツ、クロマツ33%を主体とした森林である。</p> <p>当地域は古くから人工造林が盛んで「三河材」の主要な産地であるとともに、本宮山や猿投山等の山岳地帯と美しい渓谷美の木曾川や香嵐渓をはじめとする優れた自然景観にも恵まれ、国民の保健休養の場として広く国民に利用され、観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>このため、山地災害による人命・施設の被害防備や自然景観の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>当事業は、これらの流域の特性を踏まえ地球温暖化防止や水源かん養機能・山地災害防止機能・保健文化機能など、森林が持つ公益的機能の高度発揮を図るため、間伐等の保育作業を積極的に実施するなど、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">12</td> <td style="width: 10%;">h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>208</td> <td>h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.2</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.5</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>217,051</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	12	h a			保育面積	208	h a		路網整備	開設延長	2.2	km			改良延長	1.5	km	総事業費	217,051	千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	12	h a																								
		保育面積	208	h a																								
	路網整備	開設延長	2.2	km																								
		改良延長	1.5	km																								
総事業費	217,051	千円																										
費用対効果分析	総 便 益 (B)	1,753,834	千円																									
	総 費 用 (C)	217,074	千円																									
	分析結果 (B/C)	8.08																										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土の保全及び水源かん養等の益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備等が効率的に計画されていると認められる。</p>																											

別紙様式 7

整理番号 2

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：中部森林管理局

事業実施地区名：尾張西三河森林計画区（おわりにしみかわ）

愛知森林管理事務所

（都道府県名：愛知県）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	212,412	
	流域貯水便益	38,200	
	水質浄化便益	65,210	
山地保全便益	土砂流出防止便益	104,360	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	26,777	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	6,137	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	122,687	
	木材利用増進便益	13,168	
	木材生産・確保増進便益	1,131,150	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	18,637	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	1,112,513	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	13,832	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	432	
	森林整備促進便益	15,004	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	0	
	維持管理費縮減便益	4,465	
総便益 (B)		1,753,834	
総費用 (C)		217,074	
費用便益比 (B/C)		8.08	